

14 フランスの辞書の中の日本語 4 (地名編) (2020年12月1日)

フランスの辞書の中の日本語の最終回は、地名をご紹介します。辞書には、「東京」、「京都」、「大阪」、「札幌」、「仙台」、「福岡」、「神戸」、「横浜」といった大都市だけでなく、観光地や歴史のある町が多く掲載されています。例えば、「日光」、「鎌倉」、「奈良」、「倉敷」、「松島」、「高野山」、「琴平」、「出雲」、「佐渡」、「平戸」、「種子島」などが挙げられます。「法隆寺」や「龍安寺」も記載されています。これは、日本の歴史に関心を持つ人や日本各地を旅行するフランス人が多いことを示しているのではないかと思います。

辞書に登場する地方自治体のうち、フランスの地方自治体と姉妹都市提携をしているのは、仙台市、松島町、東京都、横浜市、横須賀市、鎌倉市、金沢市、鈴鹿市、京都府と京都市、大阪府、神戸市、奈良市、出雲市、福岡市、長崎市、熊本市、名古屋市です(注: 京都と大阪は、都市名として記載)。来年2021年は、マルセイユ市と神戸市の姉妹都市提携60周年、カンヌ市と静岡市は30周年を迎えます。

日本とフランスの姉妹都市一覧

<https://www.clairparis.org/ja/action-jp/cd2-jp>

東京に近い国際空港がある「成田」は出ていますが、羽田はありません。羽田空港を発着するフライトが増えていますので、そのうち羽田も辞書に載るかもしれません。

私が日本でフランス語を習ったフランス人の先生が、約50年前に来日したときは、日本語はフジヤマとゲイシャという二つの単語しか知らなかったと話してくれたことを印象深く覚えています。辞書では、「Fuji Yama 又は mont Fuji、日本語では Fuji San」と記載されています。ゲイシャはこの辞書に載っていません。



(東京都心から見た富士山と迎賓館)



(出雲大社)

## パリの日本大使館員がフランスで見つけた日本

外国語は、その国でよく使われるようにならなければ、辞書に掲載されません。茶道 (cérémonie du thé) や書道 (calligraphie) のようにフランス語が使われるものもありますので、辞書に出ている日本語がフランスで日本について知られていることの全てを表しているわけではありません。しかし、辞書に出ている日本語を見ると、フランス人の中で日本について理解が進んでいる分野や傾向を知ることができます。日仏文化交流がさらに発展することによって、フランスの方々により幅広い分野の日本のことを知っていただけることを願っています。